東アジア古典学の方法 第 43 回

次世代ロンド（15）

日時：2018 年 6 月 9 日（土）14 時より

場所：北海道大学・人文社会科学教育研究棟

（文系共同講義棟）W516 室

発表：**佐藤 嘉惟**（東京大学）

「猿楽において〈文字〉はいかに用いられていたか

——世阿弥・禅竹伝書の用例を中心に——」

飛田 英伸（東京大学）

「関直彦訳『春鶯囀』の文体

——明治初期小説における片仮名と平仮名」

司会：**金沢 英之**（北海道大学）

コメンテーター：**工藤隆彰**（北海道大学）、**高尾祐太**（北海道大学）

「次世代ロンド」とは

科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」（代表：齋藤希史）では、2016 年度より、若手研究者による研究発表・交流の場として「次世代ロンド」を立ち上げました。

大学院生やポスドク、助教、講師などの若手研究者から発表者を募り、自らの所属機関以外の場所で発表を行ってもらうのが特徴です。コメンテーターも同様に若手研究者から募集し、さらに発表場所となった大学や研究機関からも発表者を選出してもらうことで、所属機関の枠を超えた研究交流の促進を図るものです。

主催：科研プログラム「東アジア古典学の次世代拠点形成——国際連携による研究と教育の加速」

http://eacs.c.u-tokyo.ac.jp（科研ホームページ）

お問い合わせ：eastasia@fusehime.c.u-tokyo.ac.jp